

# 多高通信

第187号 令和3年5月28日発行



さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

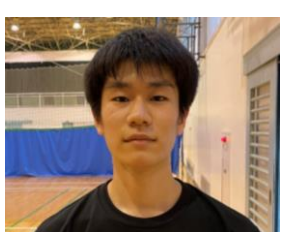
## 県総体に向けて

### 各部からのメッセージ!

6月5日から県総体が始まりです。今年度も昨年度に引き続き不自由な環境の中での開催となる種目が多く、日々の練習や練習試合等に制限がかかる中、各部が工夫を凝らし練習に励んできました。今回は、大会を間近に控えた多高生の生の声をお届けします。

#### 男子バドミントン部

■3年4組 中野渡 柊成(中野中出身)



私達男子バドミントン部は団体戦県ベスト8を目標に練習をしています。大会が無い時期はノックや手投げなどの基礎練習を、大会が近くなるなど試合形式の練習を中心に行っています。特にダブルスに力を入れており、団体戦でのダブルスを2つ取るため、ダブルスのローテーションやショットの練習を多くしています。昨年の新人戦ではベスト16と目標のあと一歩のところまで敗退してしまいました。今年の高総体では目標を達成できるよう頑張りたいです。

#### 女子バドミントン部

■3年4組 赤間 夏音(松山中出身)



私たちにとって最後の県総体まで3週間を切りました。振り返ってみると、昨年の県総体が突然中止となり、突然始まった新体制での部活は、まさに手探りの日々でした。女子バドミントン部は人数が多いことに加え、体育館割り当てが限られているため、決められた時間で少しでも多くの練習メニューを1球1球こなさなくてはなりません。新型コロナウイルス

の影響で例年通りの練習メニューや練習試合、大会などができず、焦りや戸惑い、モチベーションの低下など、部員それぞれが苦境に立たされることもあったと思います。それでも、この大変な時期を皆で乗り越えよう、誰か一人でも辛いことがあったら皆で向き合い、楽しいときには心から笑いあい、支えあつてきました。バドミントンは個人競技であるというイメージが強いかもしれませんが、こんなにも互いの些細な変化に気付いて寄り添えるチームは他に無いと思います。

県総体では、個人戦でベスト32、団体戦でベスト16を目標として、今まで支えてきてくださった全ての方々に感謝の気持ちを込めながら、チーム一丸となつて必ず公開の無いプレーをしてきたいと思えます。応援よろしくお願ひします!

#### ソフトボール部

■3年2組 木村 里未歌(不動堂中出身)



6人の一年生が入部し、昨年に引き続き今年も単独チームでの県大会出場が実現します。いよいよ新体制で試合だ!といった矢先に、まん延防止が発令され、なかなか思うように試合ができない日々が続きました。しかし、その期間を「基本を一から直すことができるチャンスだ」とポジティブに捉え、一人一人が基本を徹底し、マネージャーの協力も得ながら個人の課題を克服するための練習を一生懸命行つたことで、できるプレーがどんどん増え、チーム全体のレベルアップに繋がりました。県総体初戦は一昨年の総体優勝チームの生文高と戦います。全員が当日その場でプレーできること、毎日熱心に指導してくださり私たちをこま

で育ててくださった菅原先生と木村先生への感謝の気持ち、どんなにつらいメニューでも一緒に乗り越えてきた大好きなチームのみんなとの絆を胸に、最後まであきらめずプレーしていきます。応援よろしくお願ひします!

#### サッカー部

■3年1組 遠藤 瑛斗(多賀城二中出身)



コロナの影響により個人での自主練が多くなり、練習試合などが制限され、自分たちのレベルが今どれくらいなのか分からない日々が続きました。その中でも、チーム全体の競争意識を高め、つらい練習を乗り越えてきました。県総体は昨年卒業した先

輩方が出場できなかった大会でもあり、いま所属している部員で挑める最後の大会でもあります。僕たちサッカー部の目標はベスト8です。この目標を達成するために、部員全員、先生、コーチが一丸となつて、最後のホイッスルが鳴るまであきらめずに頑張ります。そして、コロナで暗くなっている多賀城高校に少しでも明るくなるような結果をお伝えしたいと思います。

#### 剣道部

■3年5組 高橋 大河(七ヶ浜中出身)



私たち剣道部は、県ベスト8を目標に日々の練習に取り組んでいます。私たちの代は、コロナウイルスの影響で毎年行われていた夏合宿や月に数回あった他校との練習試合を満足に行うことができませんでした。しかし、そんな中でも、日々の練習では先生方のご指導に感謝しつつ、先輩・後輩関係なくお互いに声を掛け合い、さらなる技術向上のために一人一人が反省と改善を繰り返しながら全力で取り組んできました。

今年の地区大会はまん延防止期間に重なってしまい中止となつてしまいました。県大会を残すのみとなり、特に私たち3年生は数少ない大会の一つを失うことになってしまいました。これからの大会に集中し、今までお世話になつた方々に感謝し、自分が今まで磨いてきたものを切り切り、相手を恐れず、何より「楽しんで剣道をする」ことを忘れずに大会に臨み、次の後輩の代にその姿勢を繋いでいきたいと思います。

#### 男子ソフトテニス部

■3年5組 伊藤 遼(宮城野中出身)



私達男子ソフトテニス部は、県予選で個人戦5ペアと団体戦の県大会出場を決めました。「団体戦県ベスト4・東北大会出場」「個人戦インターハイ出場」を目標に掲げ、仲間同士切磋琢磨し、日々の練習に取り組んできました。

必ずこのチームで結果を出したいと思います。

## 2学年 学問研究講演会

4月20日、山形大学から学士課程基盤教育機構長・学術研究院教授の三上英司先生をお招きし、「『論語』に学ぶ後悔しない進路選択術」と題して講演して頂きました。学問とは、という広義の意味から講演は始まり、「今高校生として何をしていくべ

きか「いつべんに沢山のことではなく、毎日の積み重ねが大事である」「なぜ授業が大切で、なぜ様々な科目が高校にあるのか」といったことについて、先生の考えをお話し下さいました。また、大学ではどのような生徒が欲しいか、知識力だけではない、身に付けておくべき力とは何か、といったこともお話し下さいました。

講演では、身近な例を数多く出してくださり、生徒たちにも分かりやすいよう丁寧にお話し下さいました。

#### 生徒の感想

○間違いは同じ間違いを繰り返さないための財産だ、という話が心に残りました。私は失敗を恐れたりごまかしたりすることがありましたが、これからはちゃんと自分に向き合っていきたいと思えます。

○自分の進路をどうするか悩んでいましたが、今日の講義を聞いてヒントをもらえたように感じました。大学がどういふものか身近に感じることができました。

○アニメの話もされていて、内容が分かりやすかったです。自分の知らないことだと話に入れなかったり、笑えなかったりするので、何事においても学んでいくのは大事なことなんだなと思いました。

#### 科学部

## 第138回日本森林学会大会

■3年7組 伊藤 若菜(塩竈一中出身)

私たちは、マクラギヤステという多足類について研究しています。宮城県内での生息が初めての報告となるこの生物について、校内のみならず校外に範囲を広げて生息調査を実施したり、生体飼育の方法を模索したりと1年以上かけて研究してきました。途中で飼育していた個体が死んでしまう等のトラブルもありましたが、これまでの取組をポスターという形にまとめることができ、さらには優秀賞に選出して頂いたことで、研究中の全ての苦労が報われたような気がします。

